

第 32 回（前回）評価委員会での主な意見

機構におけるガバナンス機能

- ・組織内のガバナンス確保ということが外部から見た時に分かりにくいいため、組織図のようなイメージを提示して欲しい。
- ・市民病院機構として4病院を運営することになる。ガバナンスとして、機構全体で無駄なく効率的に運営するための仕組み作りが重要である。

患者・市民等への周知

- ・アイセンター病院は、立地的に中央市民病院に挟まれることにもなることから、病院の役割や医療機能について、市民や医療機関が混乱しないよう留意して欲しい。

人材育成について

- ・看護部を含め、人材育成や病院間の連携をどのように行っていくのかが、運営するにあたっての重要な観点である。

中期目標本文について

- ・スケールメリットは、事業規模を拡大した時に得られるメリットであり、「規模の経済」にあたる。新たにアイセンター病院を運営することによるメリットは、多様な機能を持った病院を運営し、質が高く安全な医療を幅広く市民に提供出来るようになることであり、経済学的には、「範囲の経済」という表現の方がふさわしい。
- ・中期目標前文の「4病院を一体的に運営」について、アイセンター病院が入ること、特徴、性格に差異がある4病院を運営することになり、「スケールメリットの活用」という表現が経営面の話であるという事と結びつかないのではないかとと思われるので、表現を工夫して欲しい。